

平成26年度全国学力・学習状況調査結果

資 料

平成26年8月

高知県教育委員会事務局

平成26年度全国学力・学習状況調査 調査の結果について

平成26年8月
高知県教育委員会事務局

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 実施日 平成26年4月22日(火)

(3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学を出題
- ◇ 主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を出題
- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施

(4) 県内(公立学校)の参加状況

- ◇ 参加学校数
 - 公立小学校194校
※特別支援学校(小学部)2校を含む
 - 公立中学校109校
※特別支援学校(中学部)3校を含む
 - 公立小・中学校合計学校数302校

◇ 小学校解答(回答)児童数

国語A	5,847名	国語B	5,844名
算数A	5,847名	算数B	5,844名
児童質問紙	5,844名		

◇ 中学校解答(回答)生徒数

国語A	4,971名	国語B	4,963名
数学A	4,965名	数学B	4,965名
生徒質問紙	4,974名		

2 教科に関する調査結果の比較

小学校(国語・算数)

	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と 全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	平成26年度	74.4	72.9	1.5	79.2	78.1	1.1
	平成25年度	65.3	62.7	2.6	78.8	77.2	1.6
	平成24年度	82.1 (81.5~82.7)	81.6 (81.4~81.7)	0.5	74.7 (73.9~75.6)	73.3 (73.1~73.5)	1.4
	平成23年度	81.0			82.3		
	平成22年度	82.8 (82.2~83.5)	83.3 (83.2~83.5)	-0.5	75.3 (74.3~76.3)	74.2 (74.0~74.4)	1.1
	平成21年度	68.5	69.9	-1.4	76.4	78.7	-2.3
	平成20年度	65.0	65.4	-0.4	72.6	72.2	0.4
	平成19年度	81.7	81.7	0.0	81.6	82.1	-0.5
B	平成26年度	55.0	55.5	-0.5	57.9	58.2	-0.3
	平成25年度	49.8	49.4	0.4	57.9	58.4	-0.5
	平成24年度	53.4 (52.4~54.3)	55.6 (55.4~55.8)	-2.2	58.1 (57.1~59.1)	58.9 (58.7~59.1)	-0.8
	平成23年度	44.3			46.2		
	平成22年度	78.1 (77.2~79.0)	77.8 (77.7~78.0)	0.3	48.2 (47.2~49.2)	49.3 (49.1~49.5)	-1.1
	平成21年度	49.5	50.5	-1.0	52.1	54.8	-2.7
	平成20年度	47.7	50.5	-2.8	49.3	51.6	-2.3
	平成19年度	60.0	62.0	-2.0	60.7	63.6	-2.9

中学校(国語・数学)

	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	平成26年度	77.2	79.4	-2.2	62.7	67.4	-4.7
	平成25年度	74.3	76.4	-2.1	59.3	63.7	-4.4
	平成24年度	72.5 (71.8~73.1)	75.1 (75.0~75.2)	-2.6	58.3 (57.4~59.2)	62.1 (62.0~62.3)	-3.8
	平成23年度	78.5			54.3		
	平成22年度	72.6 (72.0~73.3)	75.1 (75.0~75.2)	-2.5	59.5 (58.3~60.7)	64.6 (64.4~64.8)	-5.1
	平成21年度	74.2	77.0	-2.8	56.5	62.7	-6.2
	平成20年度	70.0	73.6	-3.6	54.5	63.1	-8.6
	平成19年度	78.1	81.6	-3.5	62.8	71.9	-9.1
B	平成26年度	47.7	51.0	-3.3	53.6	59.8	-6.2
	平成25年度	64.8	67.4	-2.6	35.4	41.5	-6.1
	平成24年度	61.6 (60.9~62.3)	63.3 (63.2~63.4)	-1.7	45.4 (44.3~46.6)	49.3 (49.2~49.5)	-3.9
	平成23年度	61.0			45.2		
	平成22年度	61.0 (60.0~62.1)	65.3 (65.1~65.5)	-4.3	36.6 (35.4~37.9)	43.3 (43.1~43.5)	-6.7
	平成21年度	69.8	74.5	-4.7	49.7	56.9	-7.2
	平成20年度	54.7	60.8	-6.1	41.5	49.2	-7.7
	平成19年度	64.0	72.0	-8.0	50.6	60.6	-10.0

小学校・中学校(理科)

	小学校平均正答率(%)		高知県と 全国の差	中学校平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
平成24年度	59.6 (58.8~60.4)	60.9 (60.8~61.1)	-1.3	47.3 (46.5~48.0)	51.0 (50.9~51.1)	-3.7

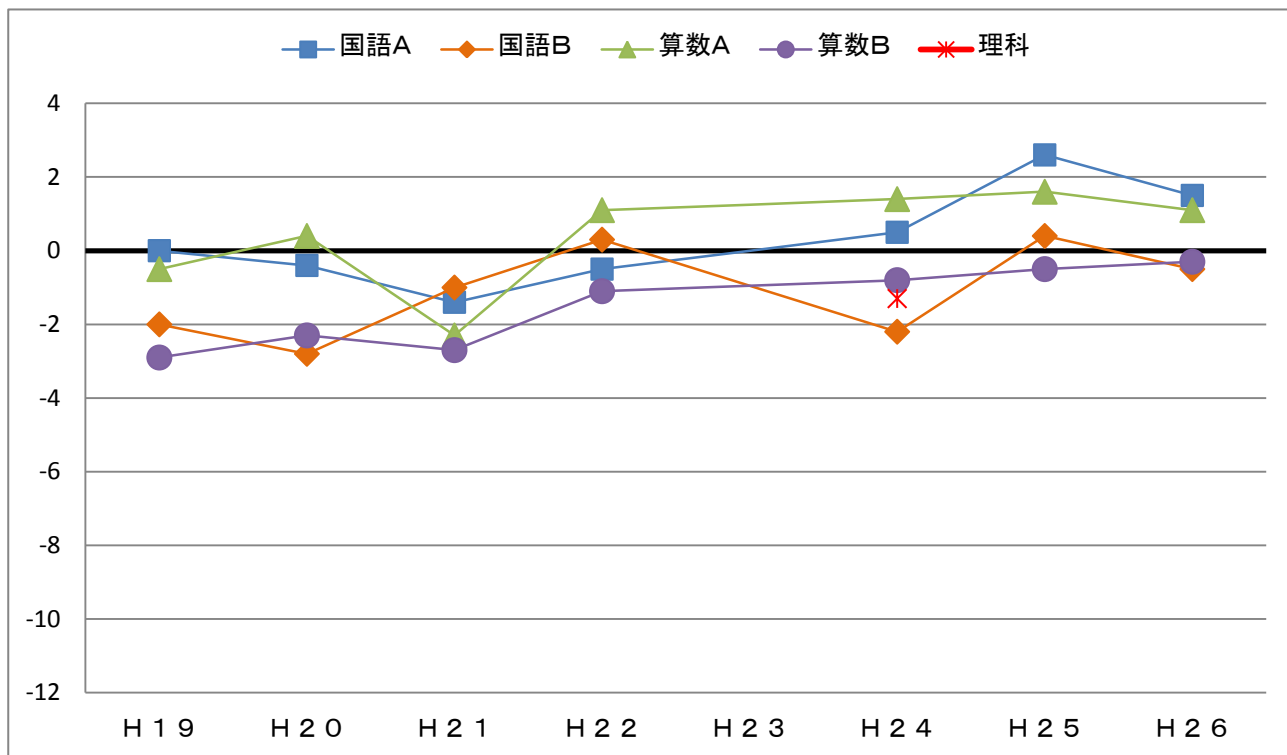
※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

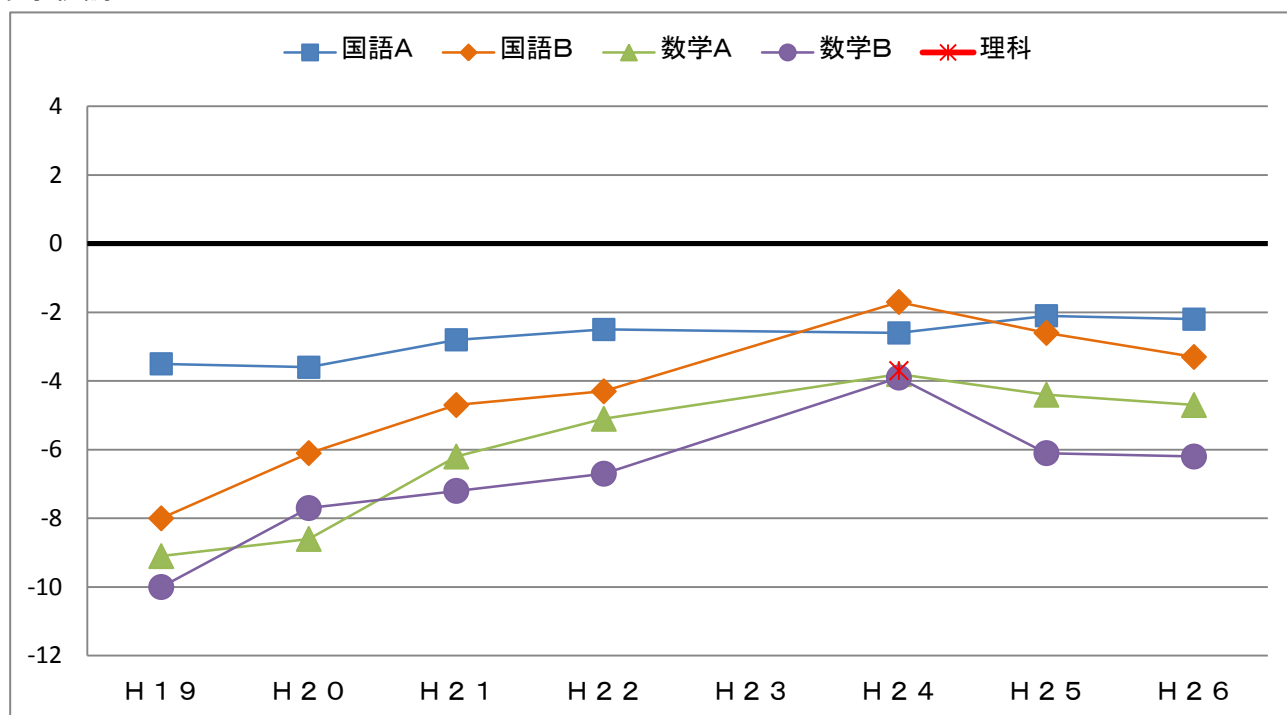
※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

[教科に関する全国平均正答率との差]

小学校調査



中学校調査



※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。(平成23年度の全国の値はない。)

3 教科に関する調査の結果

【小学校国語】

- 国語A（知識）の平均正答率は74.4%で、例えば、次のような課題が見られた。
 - ・物語を創作する際、情景描写の効果を捉えること [3 55.6%]
 - ・物語の登場人物の相互関係を捉えること [5 65.8%]
- 国語B（活用）の平均正答率は、55.0%で、例えば、次のような課題が見られた。
 - ・立場を明確にして、質問や意見を述べること [1三 28.5%]
 - ・分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くこと [2二 29.0%]

平成26年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況 [国語A 主として知識]
高知県一児童(公立)

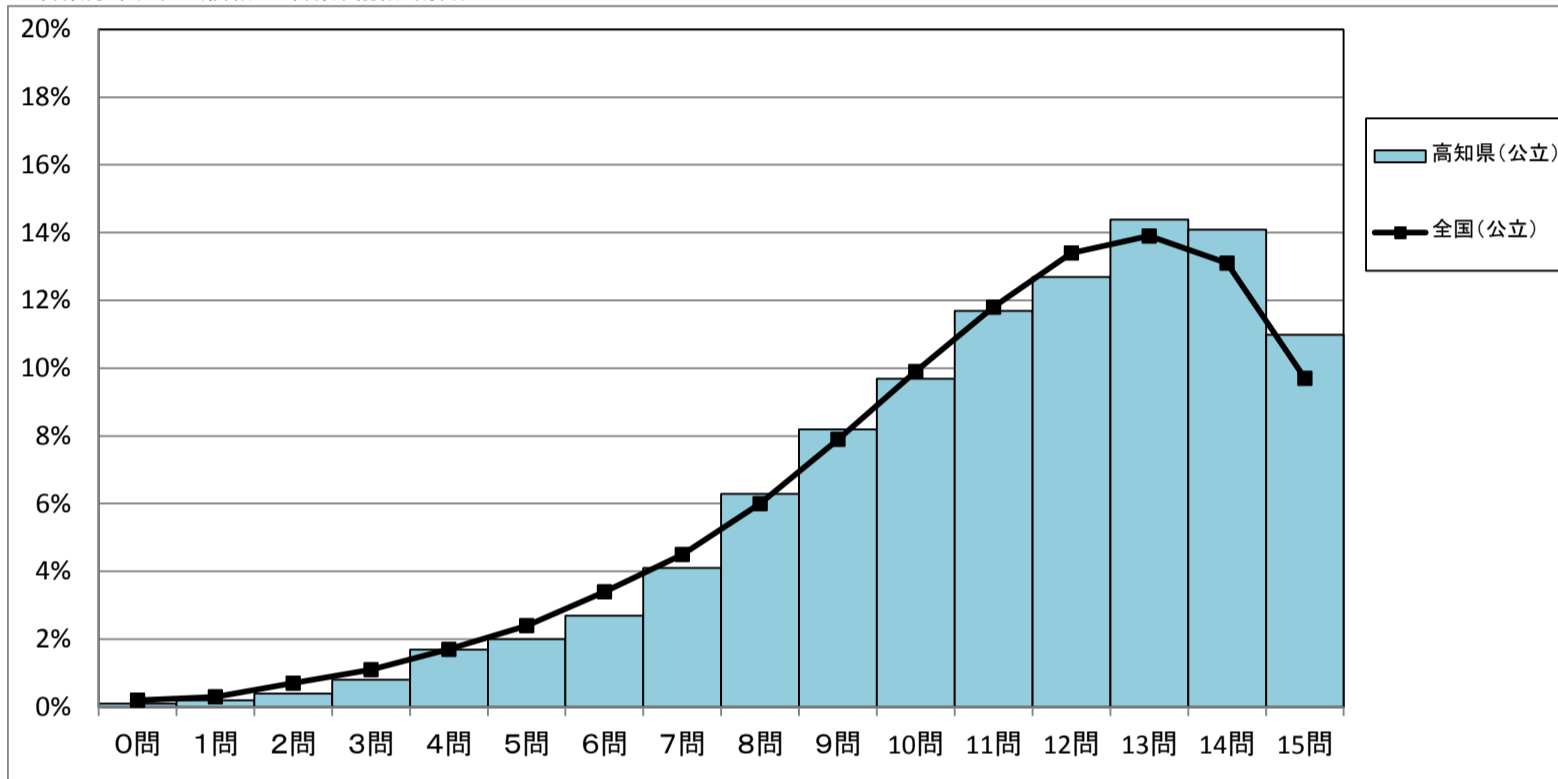
小学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,847	11.2/15	74.4	12.0	2.9
全国(公立)	1,080,663	10.9/15	72.9	12.0	3.1

正答数 (割合 (%))	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.8
4問	1.7
5問	2.0
6問	2.7
7問	4.1
8問	6.3
9問	8.2
10問	9.7
11問	11.7
12問	12.7
13問	14.4
14問	14.1
15問	11.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



平成26年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況 [国語B 主として活用]
高知県一児童(公立)

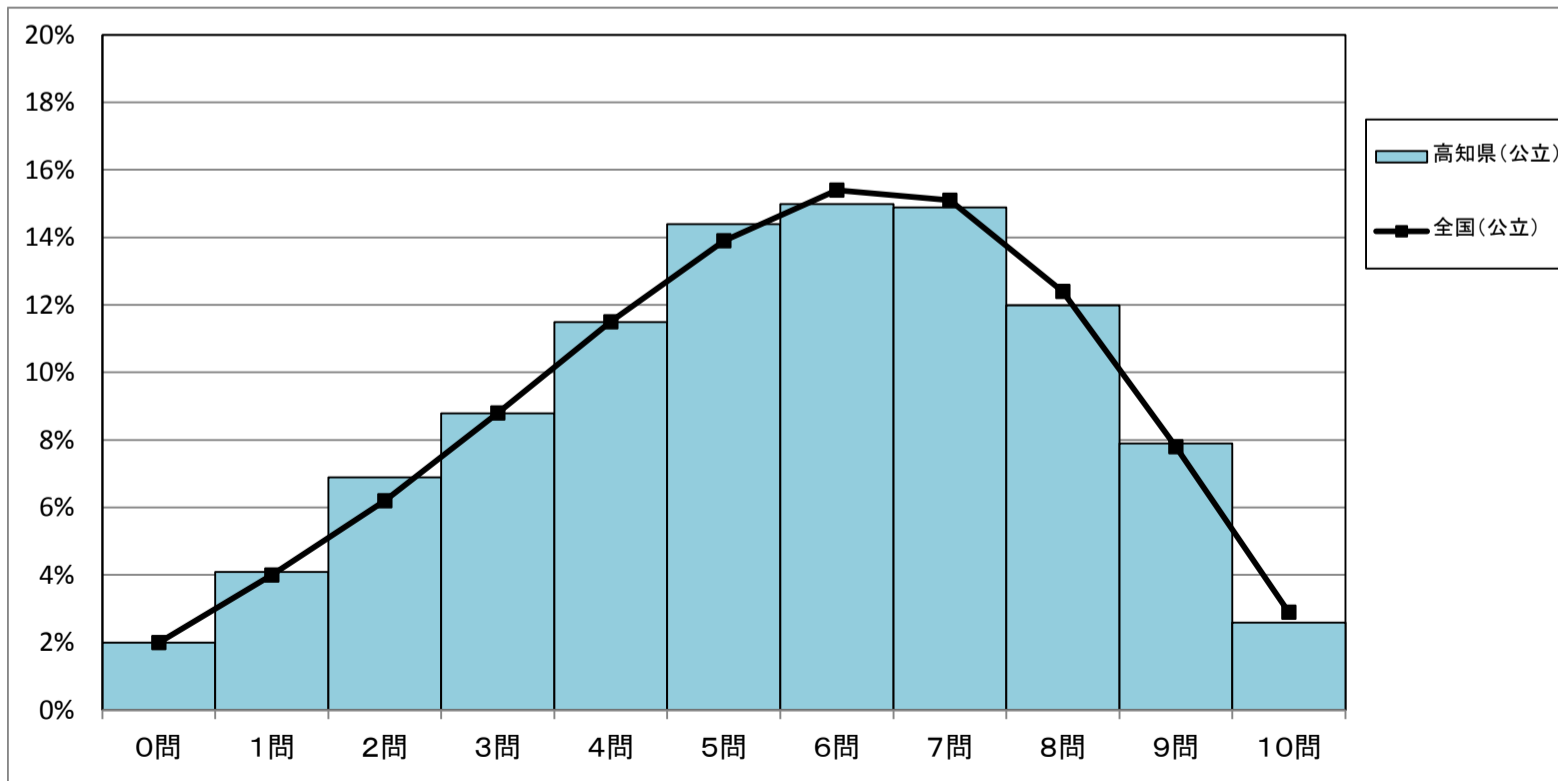
小学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,844	5.5/10	55.0	6.0	2.4
全国(公立)	1,080,444	5.5/10	55.5	6.0	2.4

正答数 (割合 (%))	
0問	2.0
1問	4.1
2問	6.9
3問	8.8
4問	11.5
5問	14.4
6問	15.0
7問	14.9
8問	12.0
9問	7.9
10問	2.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



【小学校算数】

- 算数A（知識）の平均正答率は、79.2%で、例えば、次のような課題が見られた。
 - ・作図に用いられる図形の約束や性質を理解すること [6 46.5%]
 - ・図を観察して数量の関係を理解したり、数量の関係を表現している図を解釈したりすること [2 (2) 58.0%]
- 算数B（活用）の平均正答率は、57.9%で、例えば、次のような課題が見られた。
 - ・示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述すること [3 (3) 31.8%]
 - ・示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を言葉や式を用いて記述すること [5 (3) 35.0%]

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [算数A 主として知識]

高知県－児童(公立)

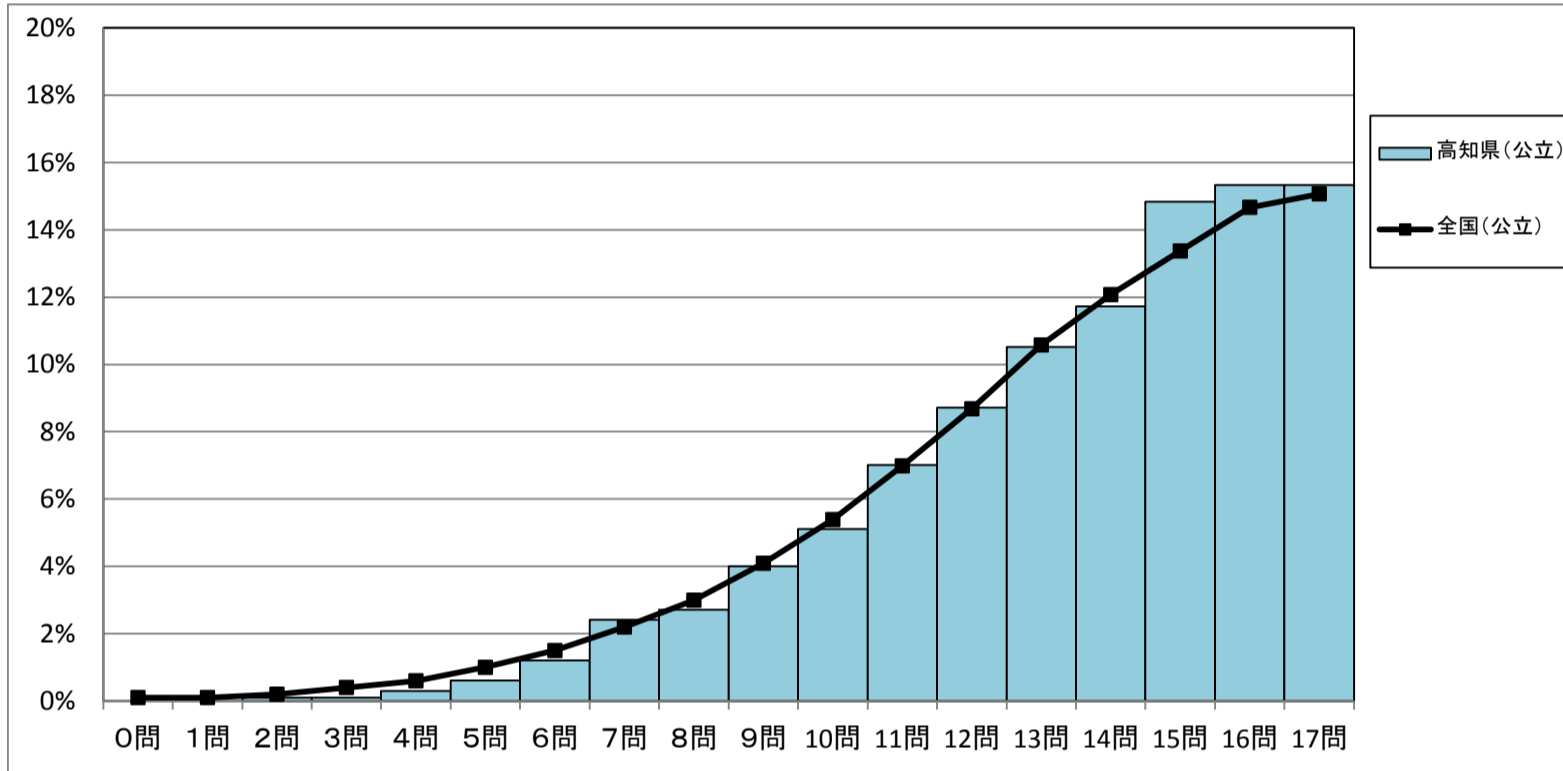
小学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,847	13.5/17	79.2	14.0	3.0
全国(公立)	1,080,657	13.3/17	78.1	14.0	3.2

正答数 (割合 (%))	
0問	0.0
1問	0.0
2問	0.1
3問	0.1
4問	0.3
5問	0.6
6問	1.2
7問	2.4
8問	2.7
9問	4.0
10問	5.1
11問	7.0
12問	8.7
13問	10.5
14問	11.7
15問	14.8
16問	15.3
17問	15.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [算数B 主として活用]

高知県－児童(公立)

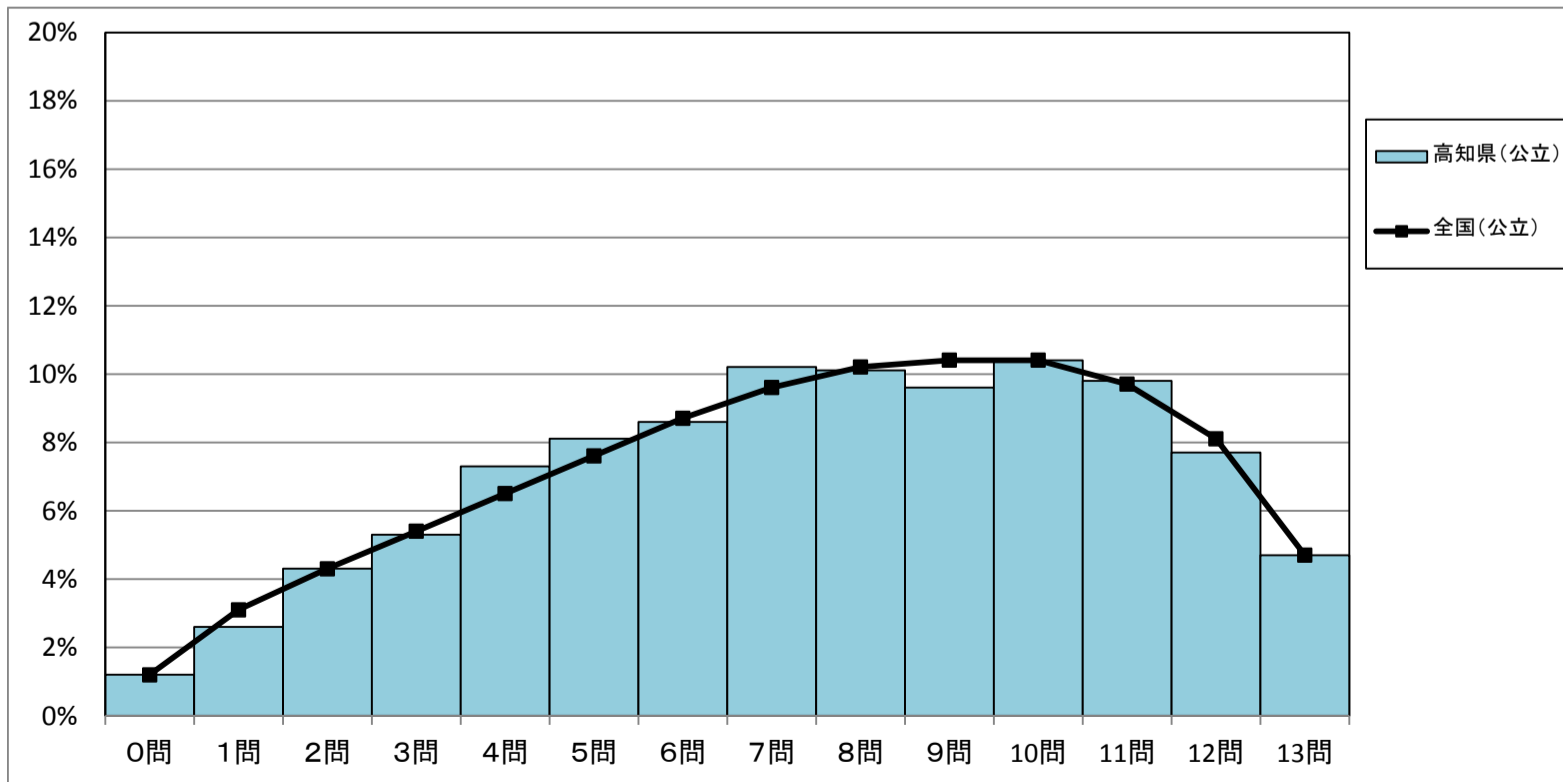
小学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,844	7.5/13	57.9	8.0	3.3
全国(公立)	1,080,442	7.6/13	58.2	8.0	3.3

正答数 (割合 (%))	
0問	1.2
1問	2.6
2問	4.3
3問	5.3
4問	7.3
5問	8.1
6問	8.6
7問	10.2
8問	10.1
9問	9.6
10問	10.4
11問	9.8
12問	7.7
13問	4.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



【中学校国語】

○ 国語A（知識）の平均正答率は、77.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること [6ー 50.3%]

○ 国語B（活用）の平均正答率は、47.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・複数の資料を比較して読み、要旨を捉えること [2ー 28.9%]
- ・資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くこと [2三 25.7%]
- ・落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと [3三 42.4%]

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [国語A 主として知識]

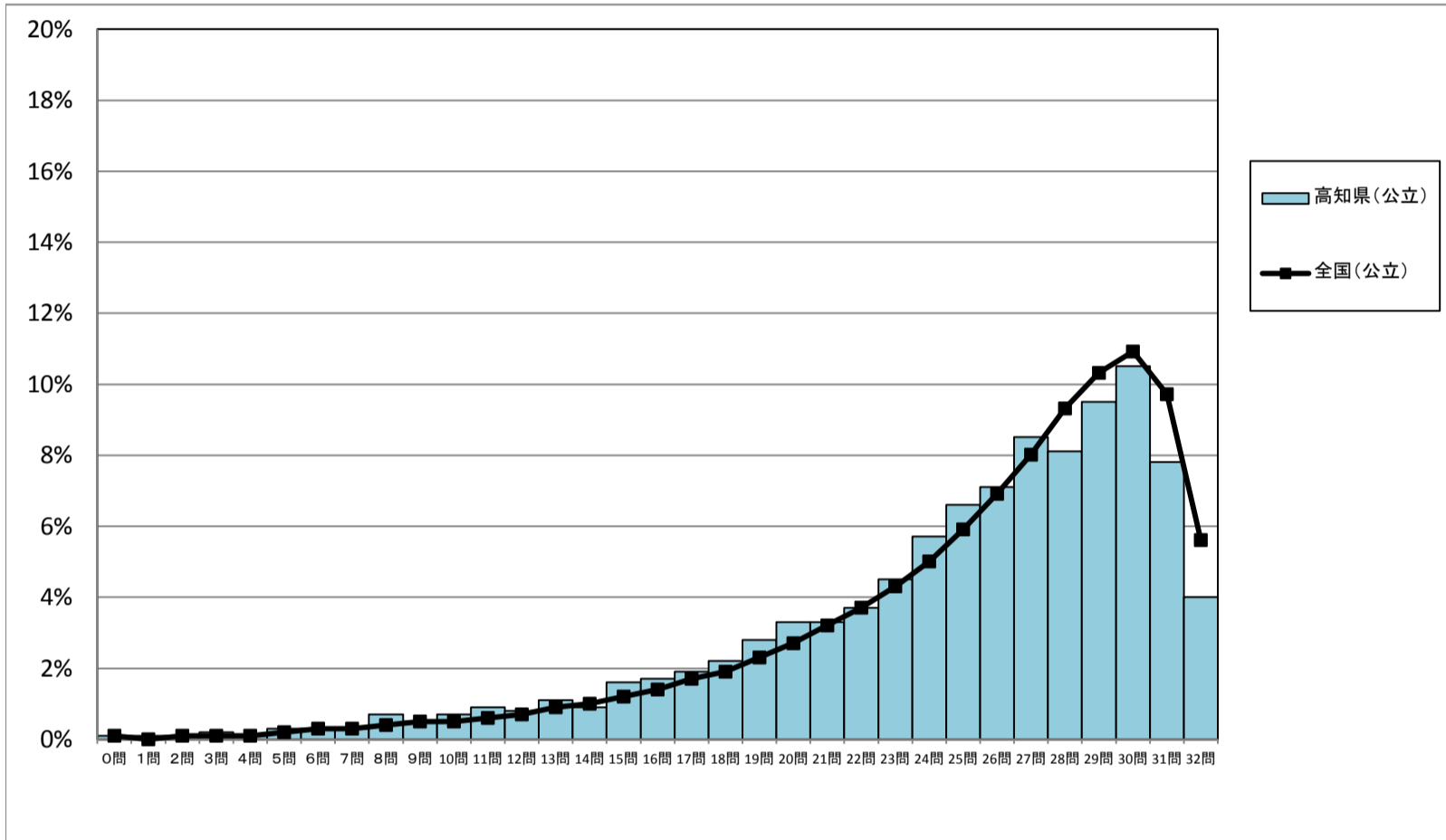
高知県－生徒（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,971	24.7/32	77.2	26.0	6.0
全国(公立)	1,017,965	25.4/32	79.4	27.0	5.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数 (割合 (%))	割合 (%)
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.2
4問	0.1
5問	0.3
6問	0.3
7問	0.3
8問	0.7
9問	0.5
10問	0.7
11問	0.9
12問	0.8
13問	1.1
14問	0.9
15問	1.6
16問	1.7
17問	1.9
18問	2.2
19問	2.8
20問	3.3
21問	3.3
22問	3.7
23問	4.5
24問	5.7
25問	6.6
26問	7.1
27問	8.5
28問	8.1
29問	9.5
30問	10.5
31問	7.8
32問	4.0

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [国語B 主として活用]

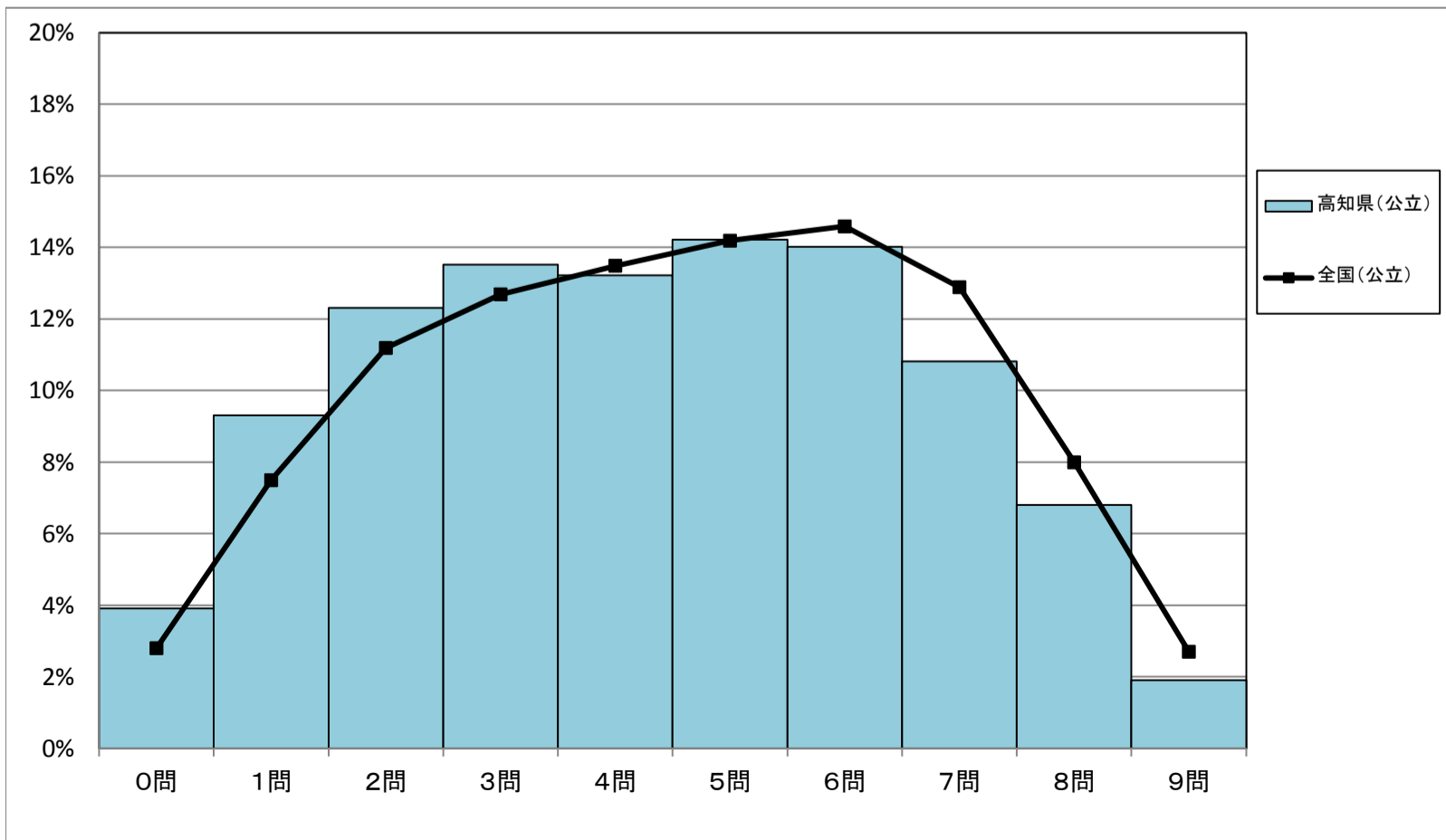
高知県－生徒（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,963	4.3/9	47.7	4.0	2.3
全国(公立)	1,018,157	4.6/9	51.0	5.0	2.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数 (割合 (%))	割合 (%)
0問	3.9
1問	9.3
2問	12.3
3問	13.5
4問	13.2
5問	14.2
6問	14.0
7問	10.8
8問	6.8
9問	1.9

【中学校数学】

○ 数学A（知識）の平均正答率は、62.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解すること [5 (4) 31.0%]
- ・関数の意味を理解すること [9 30.9%]

○ 数学B（活用）の平均正答率は、53.6%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること [5 (2) 25.7%]
- ・グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を数学的に説明すること [6 (3) 24.5%]

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [数学A 主として知識]

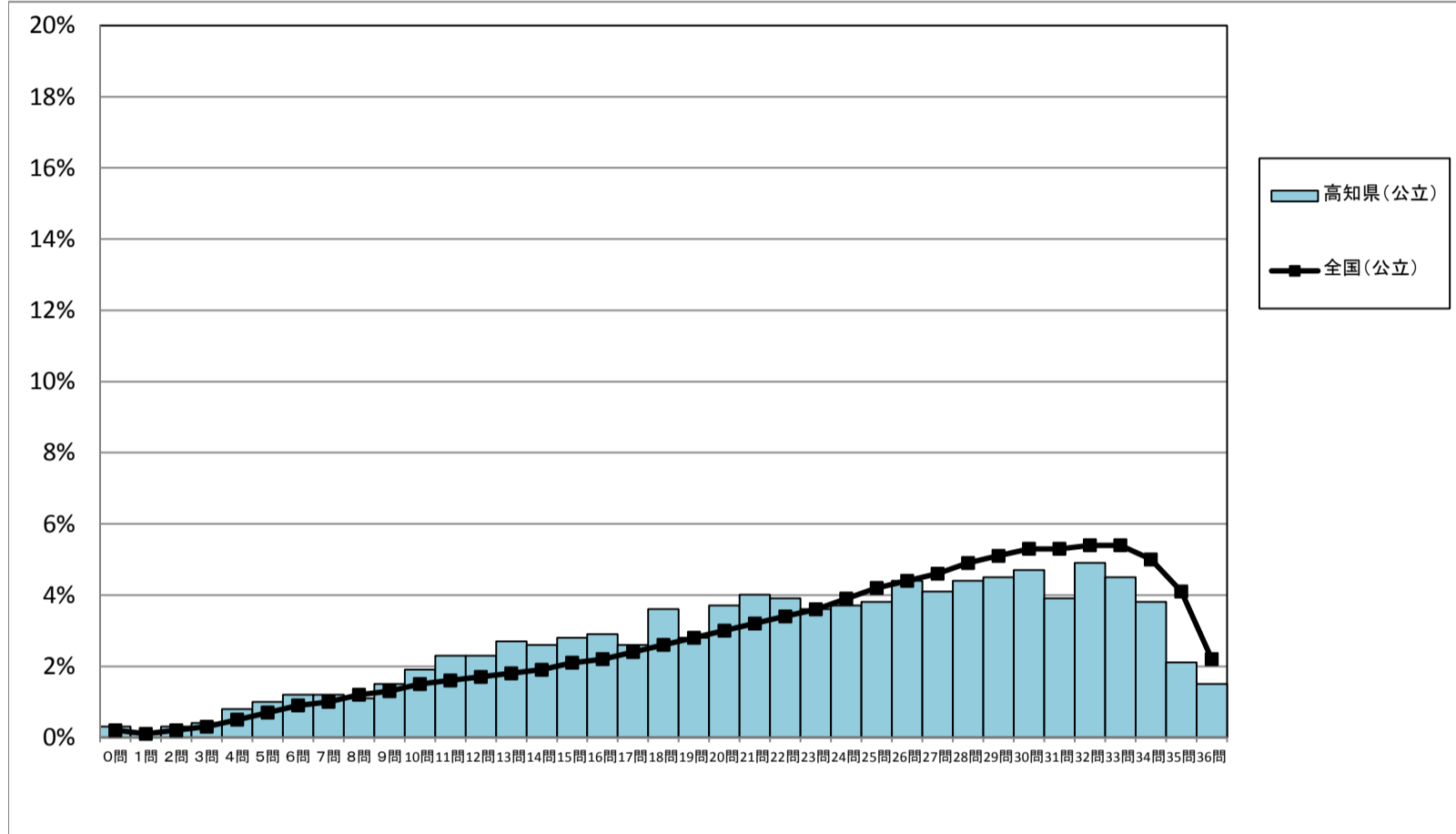
高知県一生徒(公立)

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,965	22.6/36	62.7	24.0	8.4
全国(公立)	1,018,328	24.3/36	67.4	26.0	8.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数 (割合 (%))	割合 (%)
0問	0.3
1問	0.1
2問	0.3
3問	0.4
4問	0.8
5問	1.0
6問	1.2
7問	1.2
8問	1.1
9問	1.5
10問	1.9
11問	2.3
12問	2.3
13問	2.7
14問	2.6
15問	2.8
16問	2.9
17問	2.6
18問	3.6
19問	2.8
20問	3.7
21問	4.0
22問	3.9
23問	3.6
24問	3.7
25問	3.8
26問	4.4
27問	4.1
28問	4.4
29問	4.5
30問	4.7
31問	3.9
32問	4.9
33問	4.5
34問	3.8
35問	2.1
36問	1.5

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [数学B 主として活用]

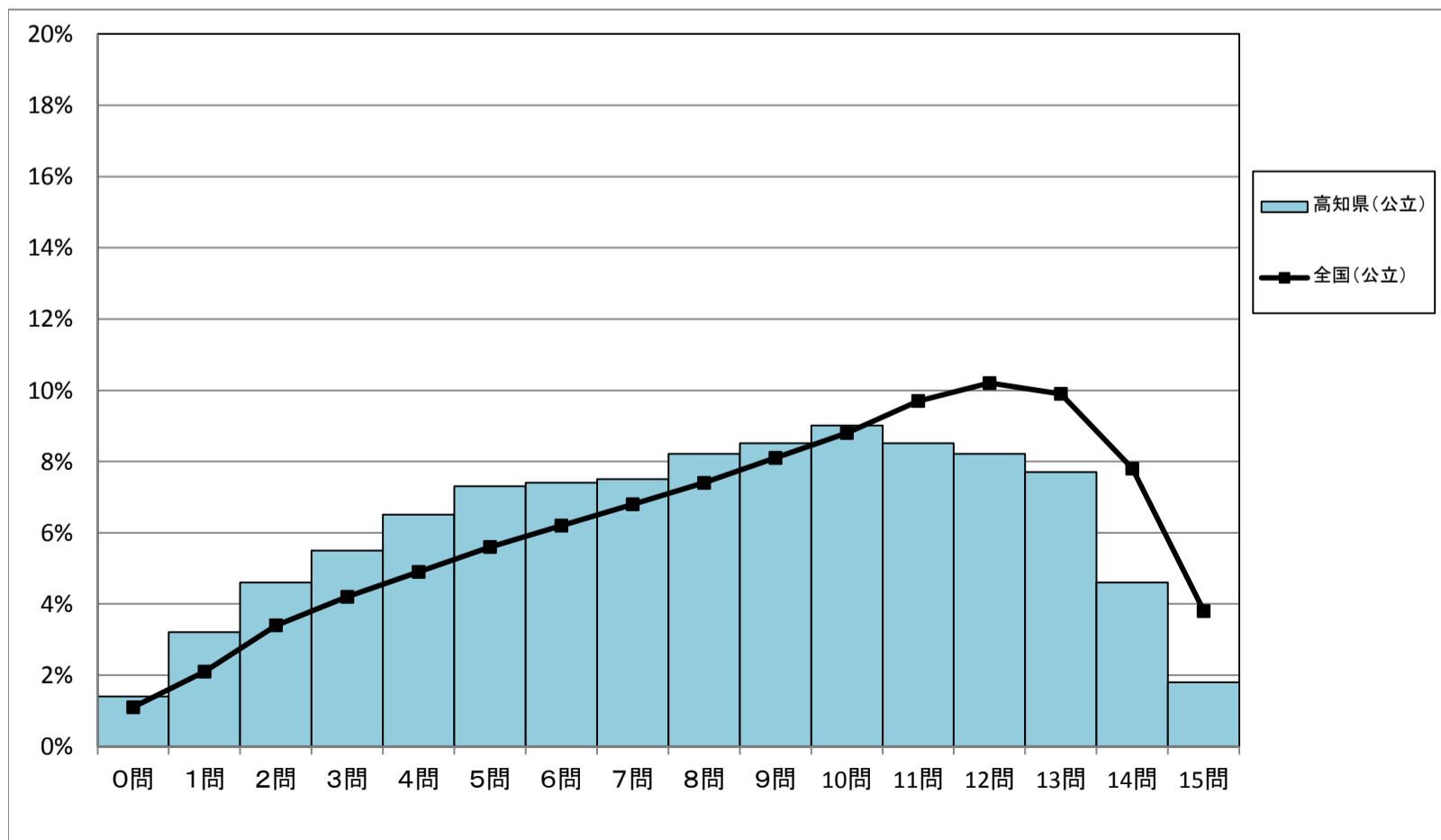
高知県一生徒(公立)

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,965	8.0/15	53.6	8.0	3.8
全国(公立)	1,018,365	9.0/15	59.8	10.0	3.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数 (割合 (%))	割合 (%)
0問	1.4
1問	3.2
2問	4.6
3問	5.5
4問	6.5
5問	7.3
6問	7.4
7問	7.5
8問	8.2
9問	8.5
10問	9.0
11問	8.5
12問	8.2
13問	7.7
14問	4.6
15問	1.8

4 質問紙調査の結果（児童生徒質問紙）

* 「肯定群」は、選択肢の「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」、「している・どちらかといえば、している」、「そう思う・どちらかといえば、そう思う」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。
 * 文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±2ポイントの範囲内にあることを表している。

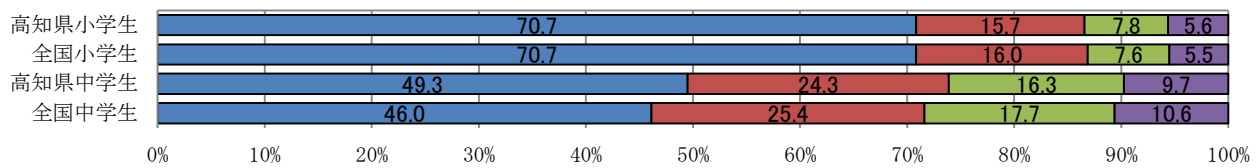
高知のキャリア教育の柱「社会性の育成」

【将来の夢や目標を持っていますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では2.2ポイント上回っている。本県のH25年度と比較すると、肯定群の割合は、小学生では大きな変化はなく、中学生では2.4ポイント減少している。

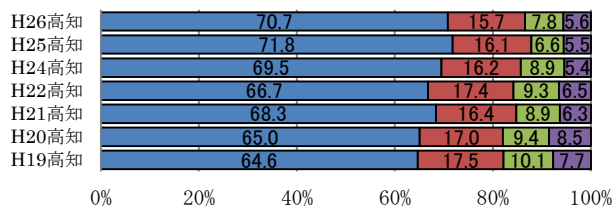
平成26年度調査結果

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

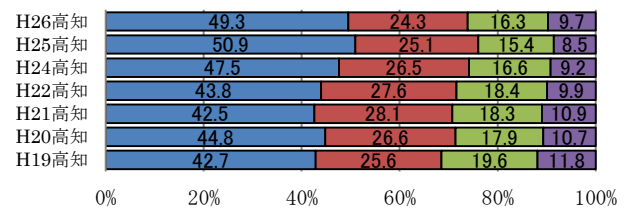


高知県（経年）

【小学生】



【中学生】

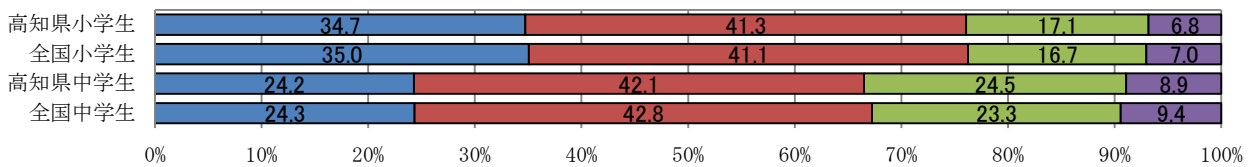


【自分には、よいところがあると思いますか】

小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。本県のH25年度と比較しても、大きな変化は見られない。

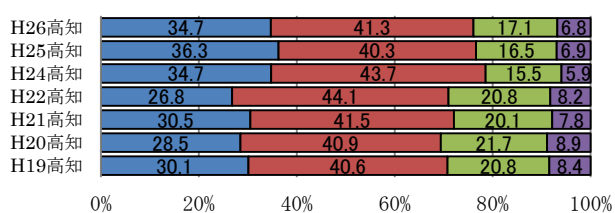
平成26年度調査結果

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

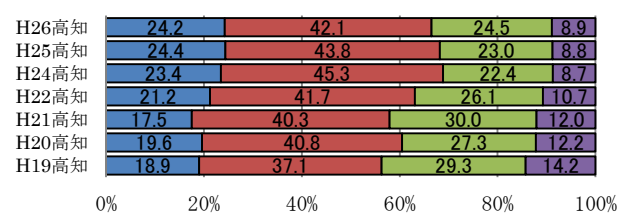


高知県（経年）

【小学生】



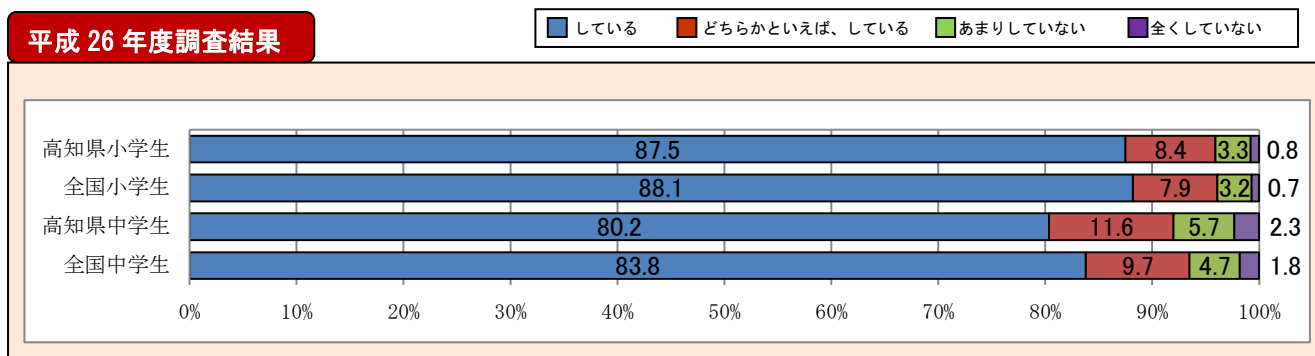
【中学生】



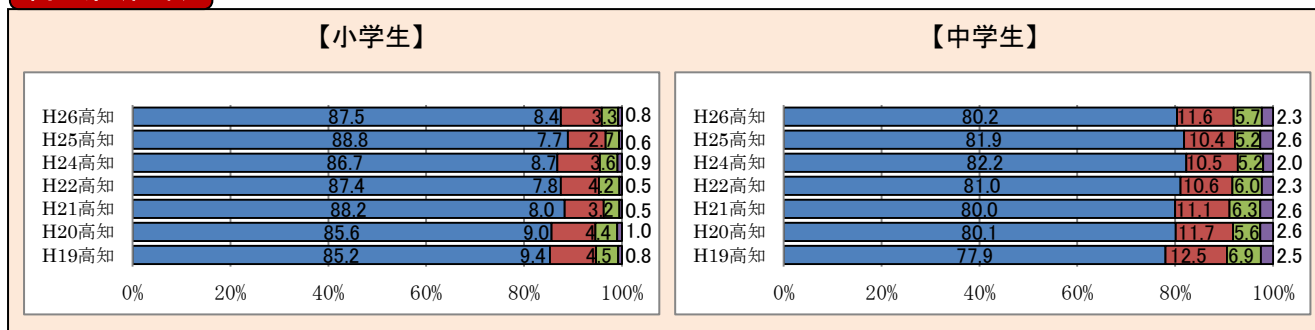
高知のキャリア教育の柱「基本的生活習慣の確立」

【朝食を毎日食べていますか】

小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。本県のH25年度と比較しても、大きな変化は見られない。

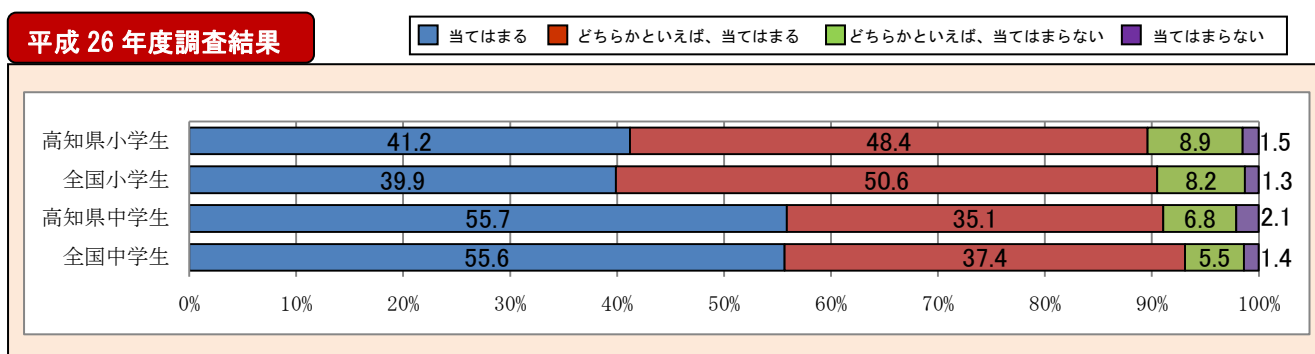


高知県（経年）

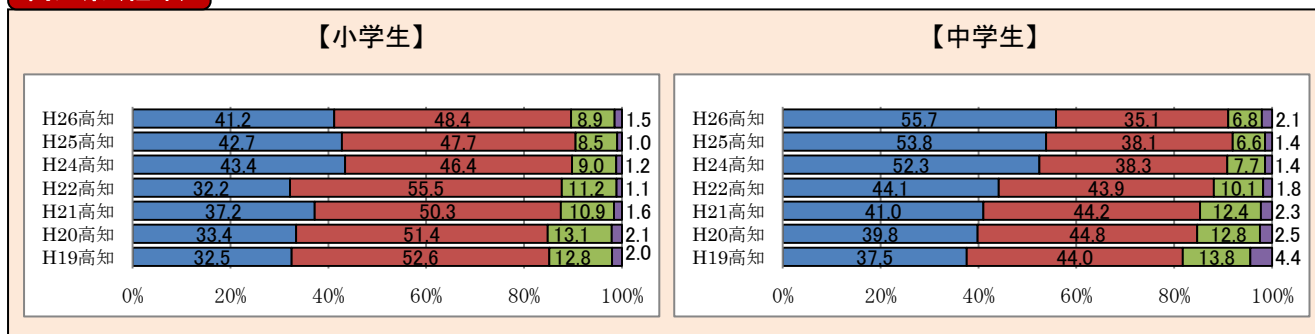


【学校のきまり（規則）を守っていますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では2.2ポイント下回っている。本県のH25年度と比較すると、肯定群の割合は、小・中学生ともに、大きな変化は見られない。

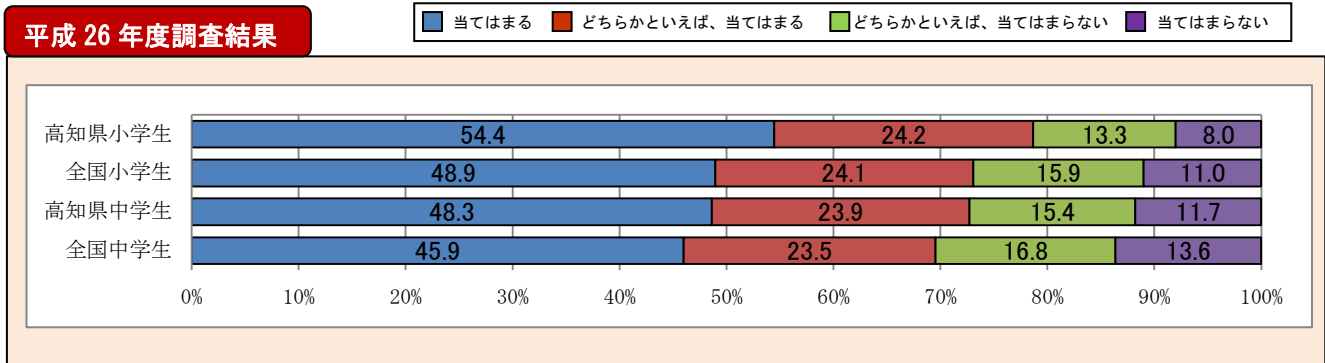


高知県（経年）

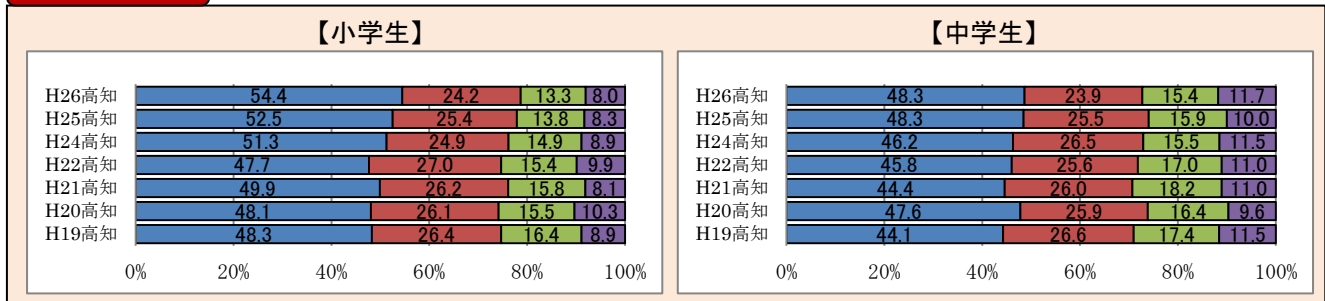


【読書は好きですか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生では5.6ポイント上回っており、中学生では2.8ポイント上回っている。

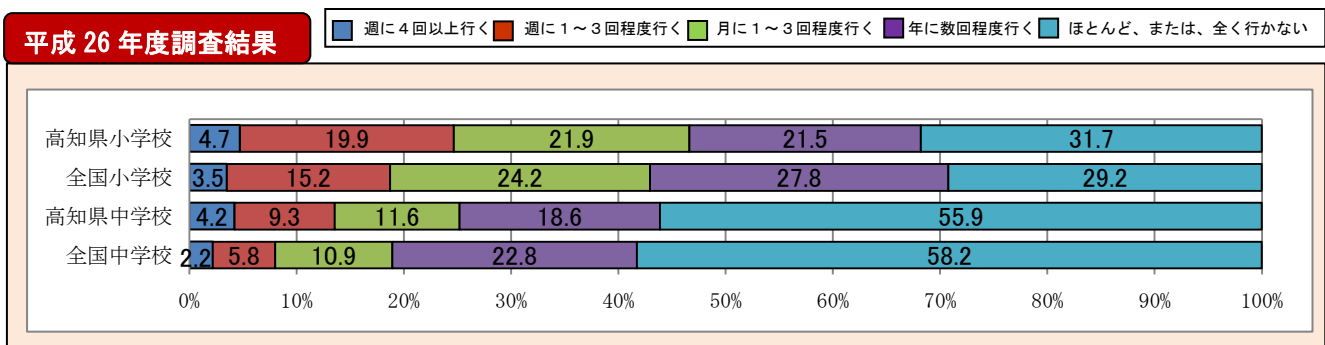


高知県（経年）

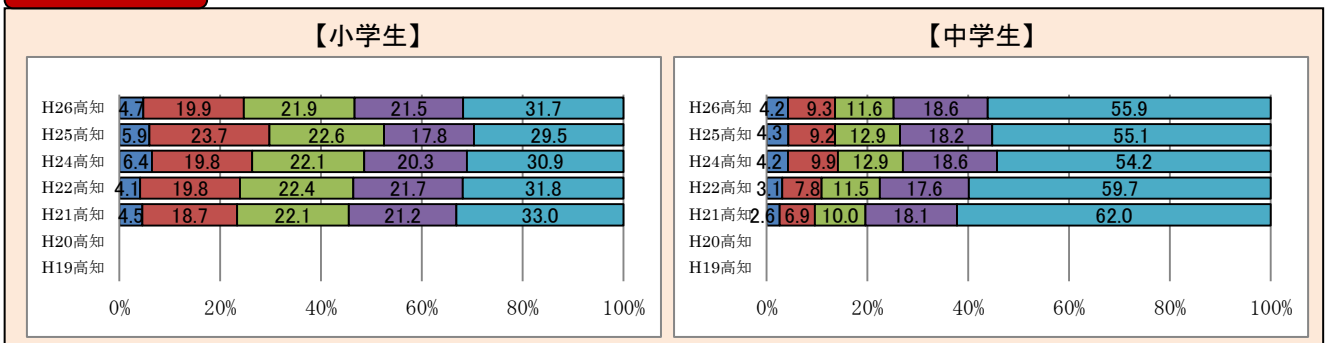


【本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか】

「週に1回以上」行く割合は、全国と比較すると、小学生では5.9ポイント上回っており、中学生では5.5ポイント上回っている。本県のH25年度と比較すると、小学生では5.0ポイント減少しており、中学生では大きな変化は見られない。

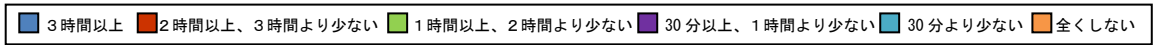


高知県（経年）

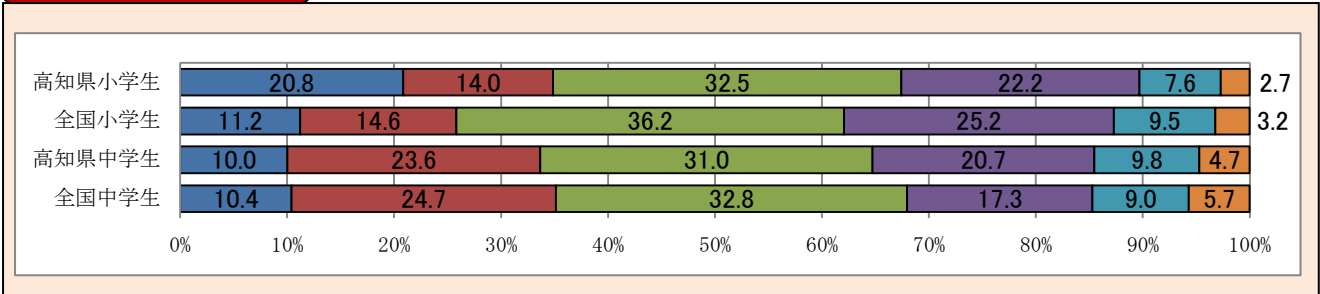


【学校の授業時間以外に普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか】

「2時間以上」学習する割合は、全国と比較すると、小学生では9.0ポイント上回っており、中学生ではほぼ同じである。



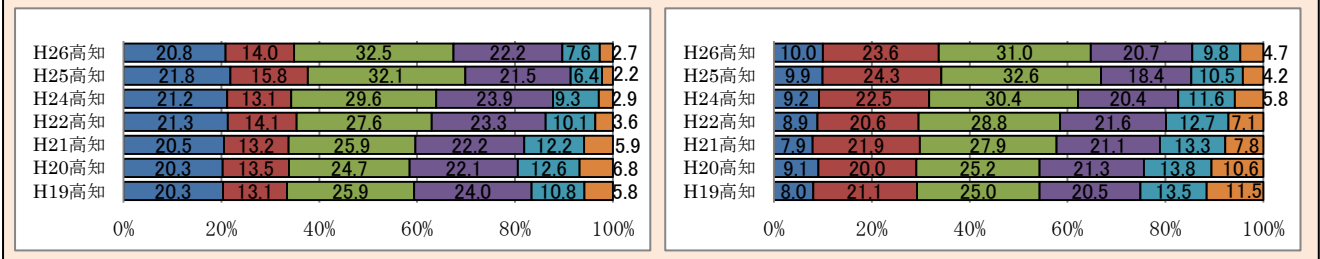
平成26年度調査結果



高知県(経年)

【小学生】

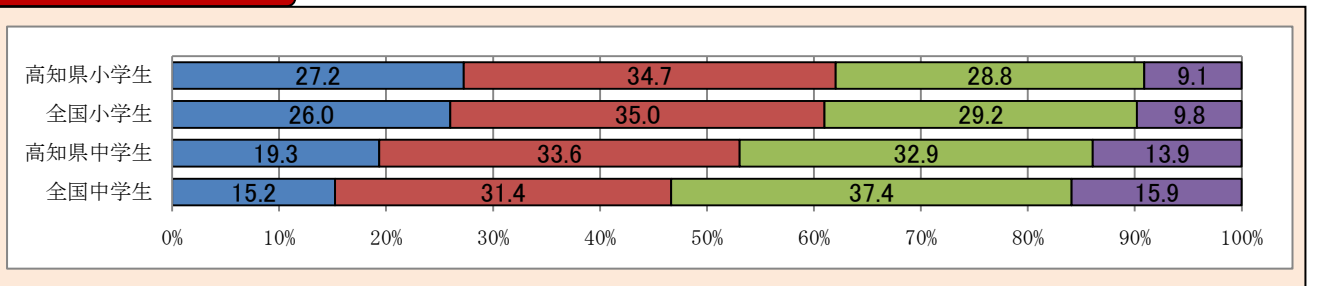
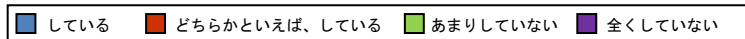
【中学生】



【家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では6.3ポイント上回っている。中学生では、肯定群の割合は、増加傾向にある。

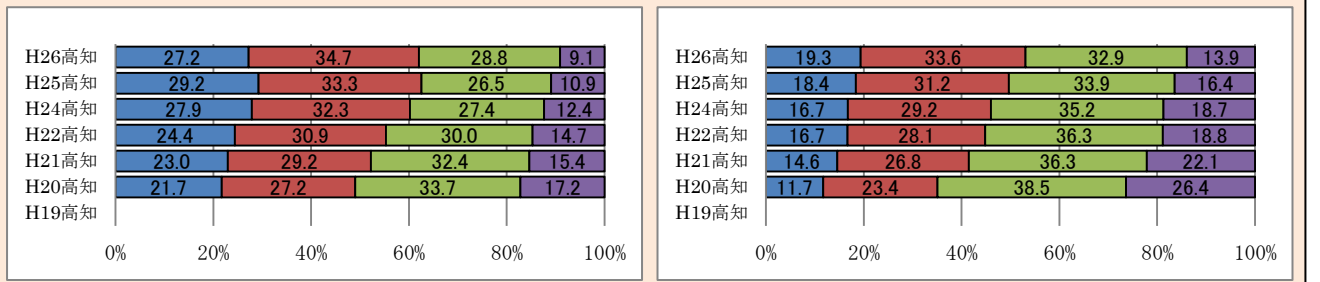
平成26年度調査結果



高知県(経年)

【小学生】

【中学生】



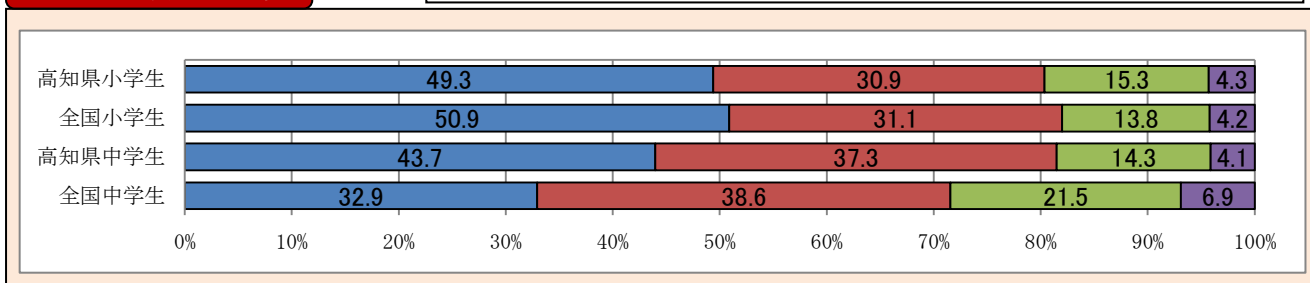
高知のキャリア教育の柱「学力向上」

【普段授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では9.5ポイント上回っている。本県のH25年度と比較すると、肯定群の割合は、小学生では大きな変化はなく、中学生では5.8ポイント増加している。

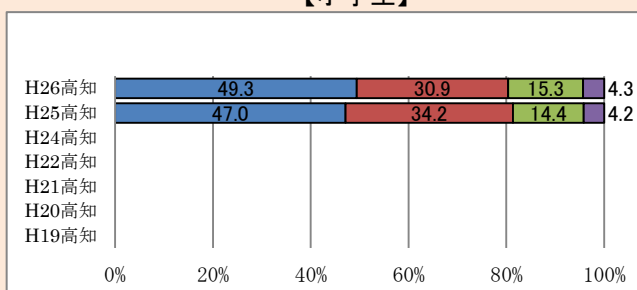
平成26年度調査結果

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

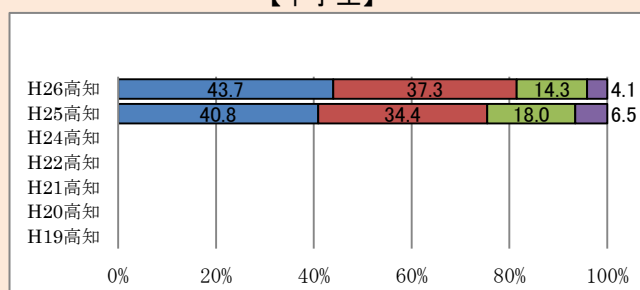


高知県（経年）

【小学生】



【中学生】

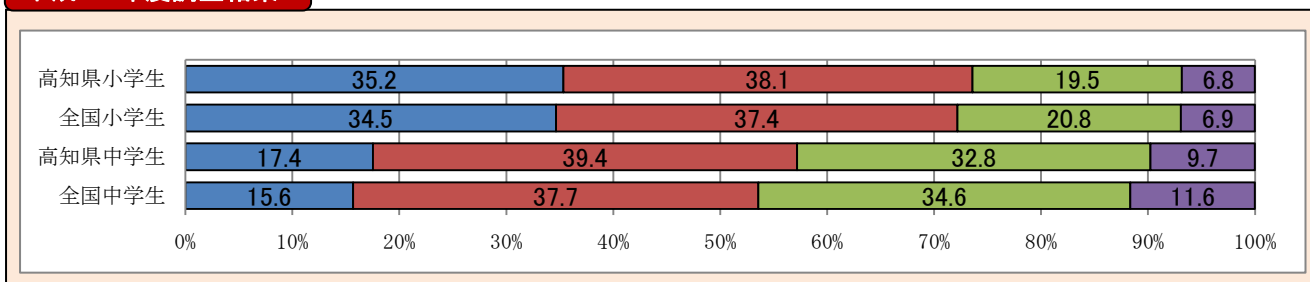


【普段の授業では、最後に学習の内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では3.5ポイント上回っている。本県のH25年度と比較すると、肯定群の割合は、小学生では3.1ポイント減少しており、中学生では5.9ポイント増加している。

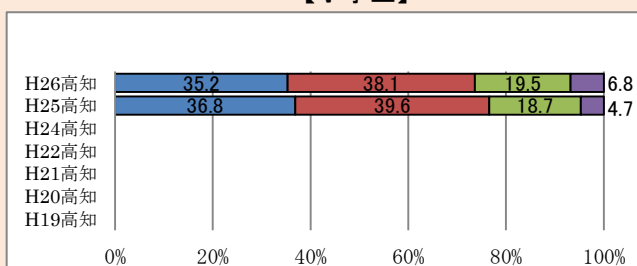
平成26年度調査結果

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

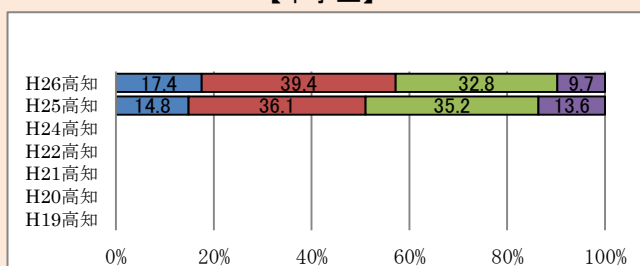


高知県（経年）

【小学生】

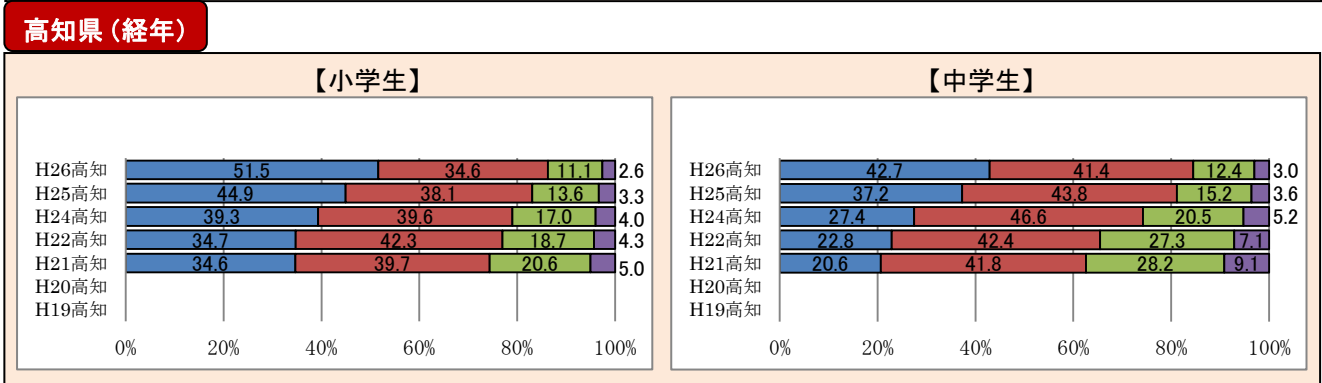
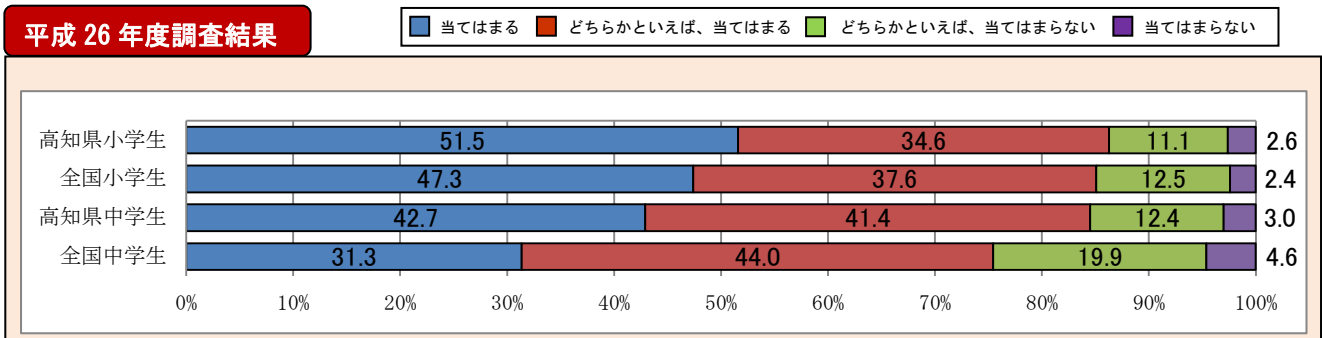


【中学生】



【普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか】

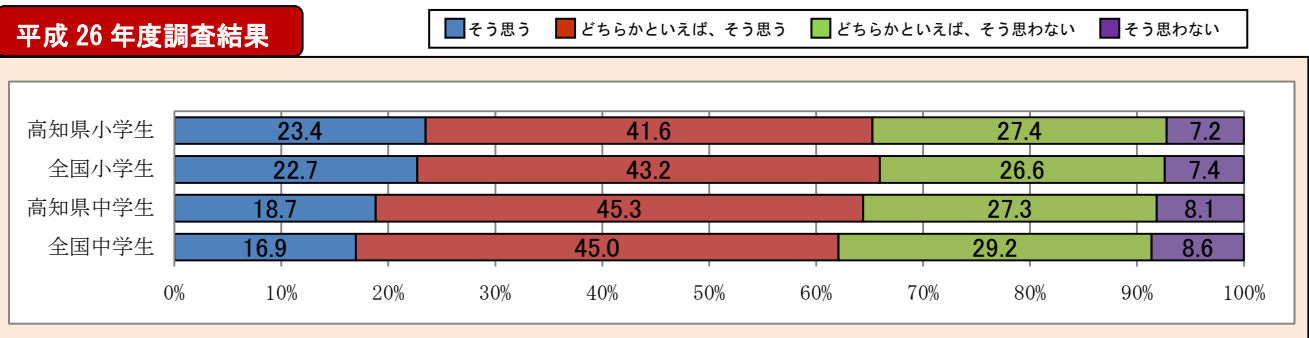
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では8.8ポイント上回っている。
小・中学生ともに、肯定群の割合は、増加傾向にある。



新規項目

【学級の友達との間で（生徒の間に）話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では2.1ポイント上回っている。



5 質問紙調査の結果（学校質問紙）

* 「肯定群」は、選択肢の「よく行った・どちらかといえば、行った」、「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」、「よくしている・どちらかといえば、している」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。

* 文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±2ポイントの範囲内にあることを表している。

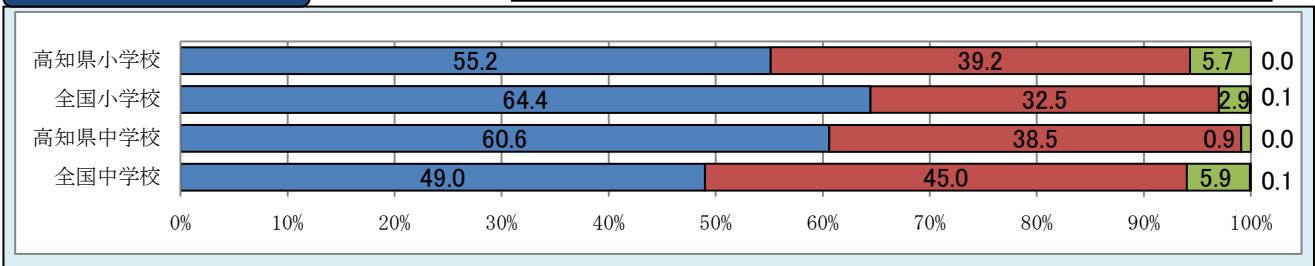
〔指導方法〕

【授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか】

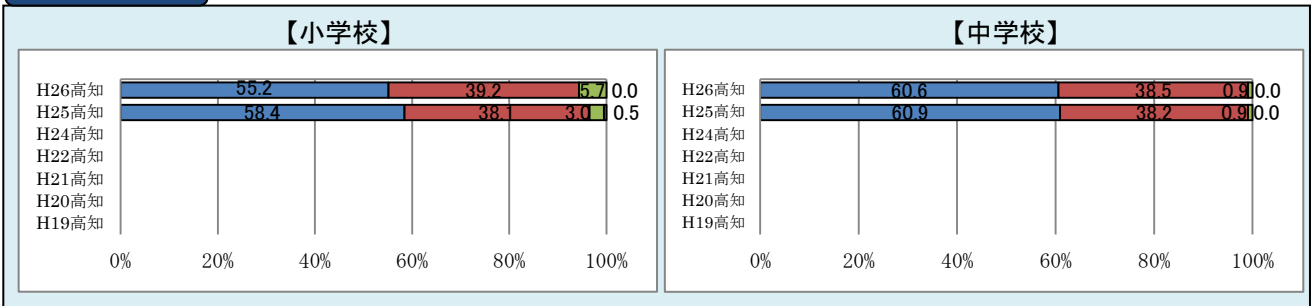
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では2.5ポイント下回っており、中学校では5.1ポイント上回っている。

平成26年度調査結果

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 全く行っていない



高知県（経年）

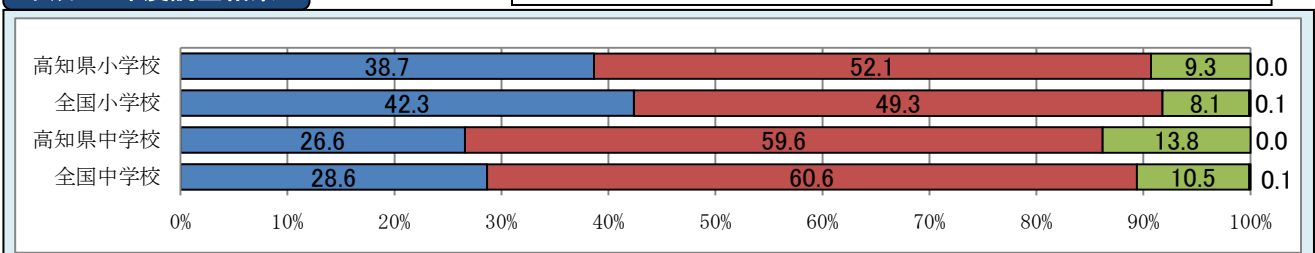


【授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか】

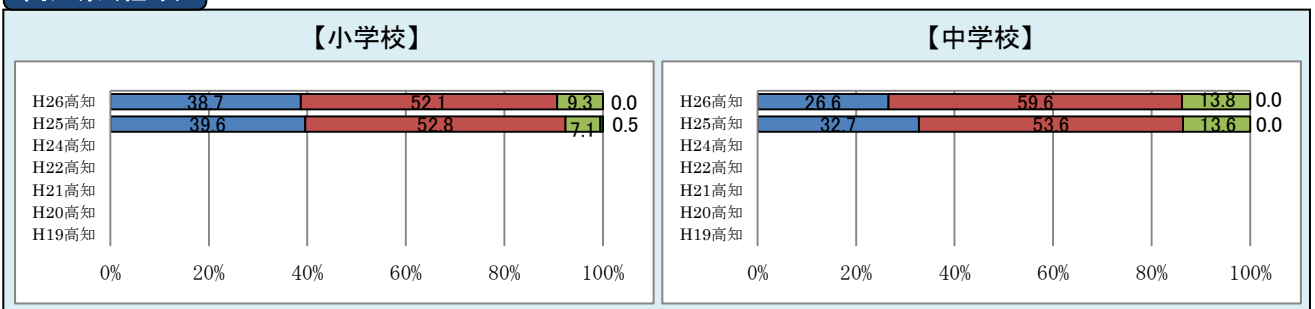
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じであり、中学校では3.0ポイント下回っている。

平成26年度調査結果

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 全く行っていない

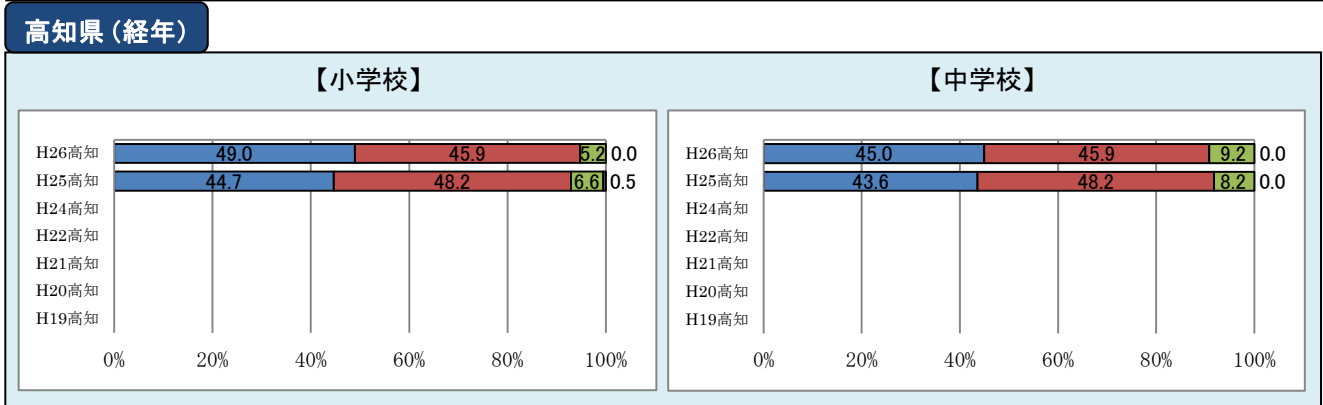
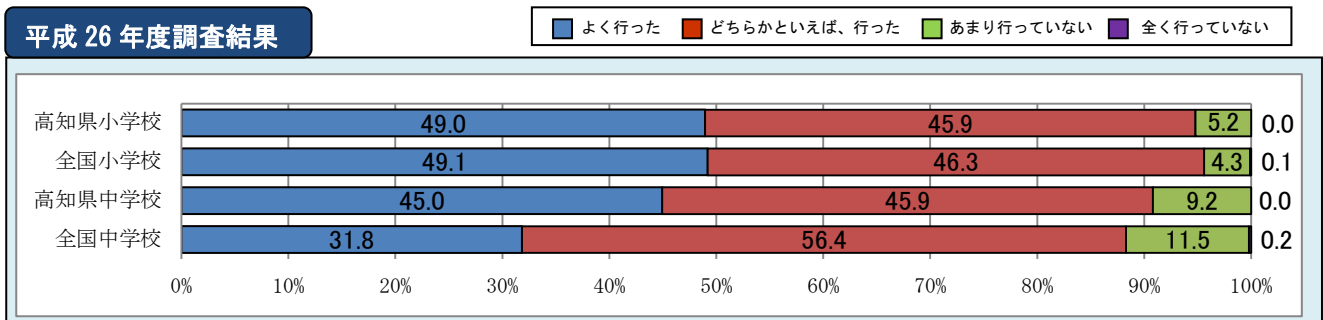


高知県（経年）



【学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていますか】

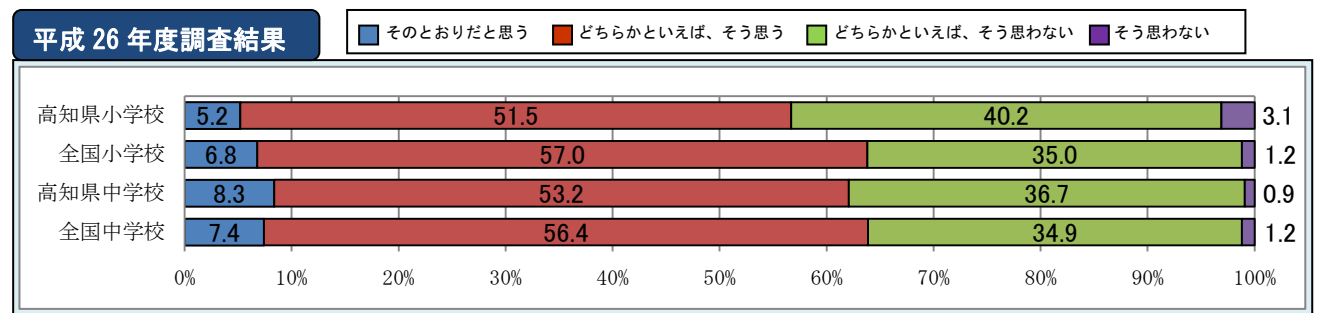
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じであり、中学校では2.7ポイント上回っている。



新規項目

【児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では7.1ポイント下回っており、中学校では2.3ポイント下回っている。



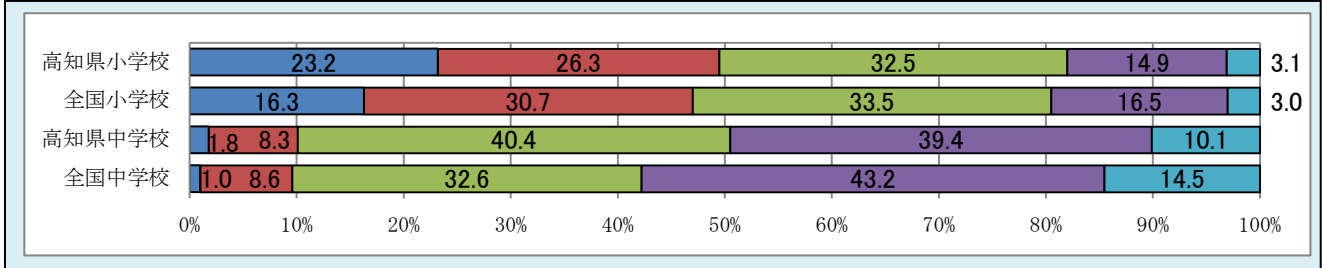
【学力向上に向けた取組】

【学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか】

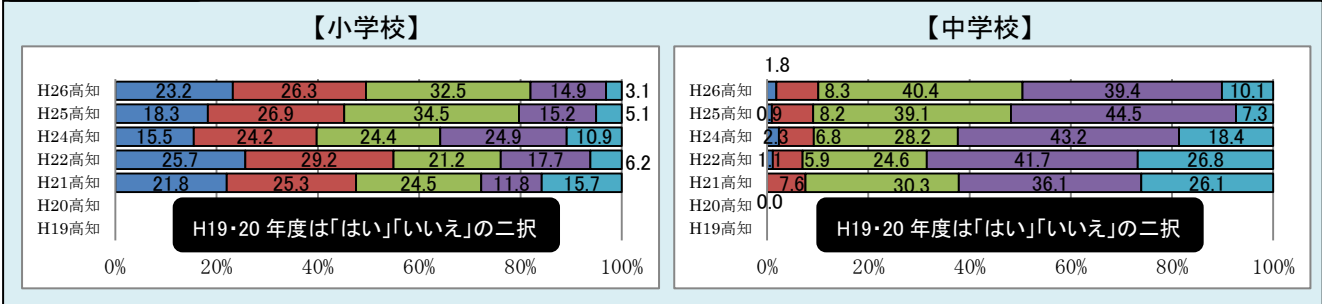
「月に数回以上」行った学校の割合は、全国と比較すると、小学校では2.5ポイント上回っており、中学校ではほぼ同じである。本県のH25年度と比較すると、小学校では4.3ポイント増加しており、中学校では大きな変化は見られない。



平成 26 年度調査結果



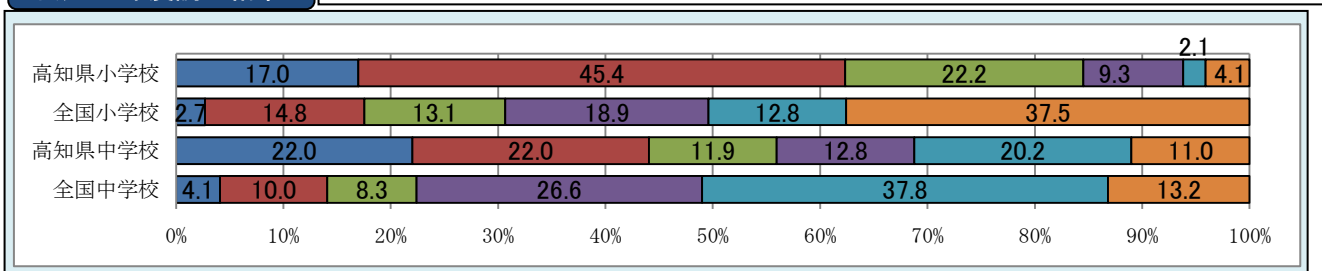
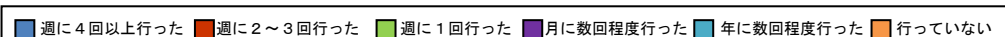
高知県（経年）



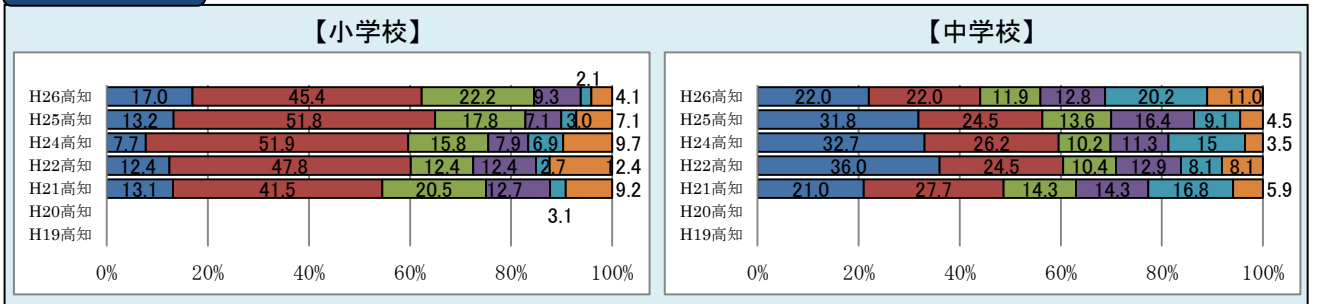
【放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか】

「週に2回以上」実施した学校の割合は、全国と比較すると、小学校では44.9ポイント上回っており、中学校では29.9ポイント上回っている。本県のH25年度と比較すると、小学校では2.6ポイント減少しており、中学校では12.3ポイント減少している。

平成 26 年度調査結果



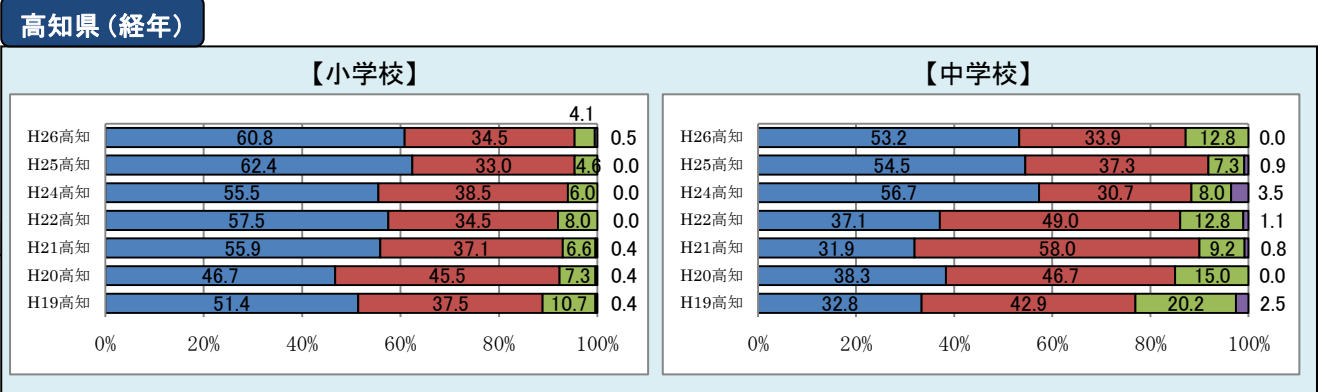
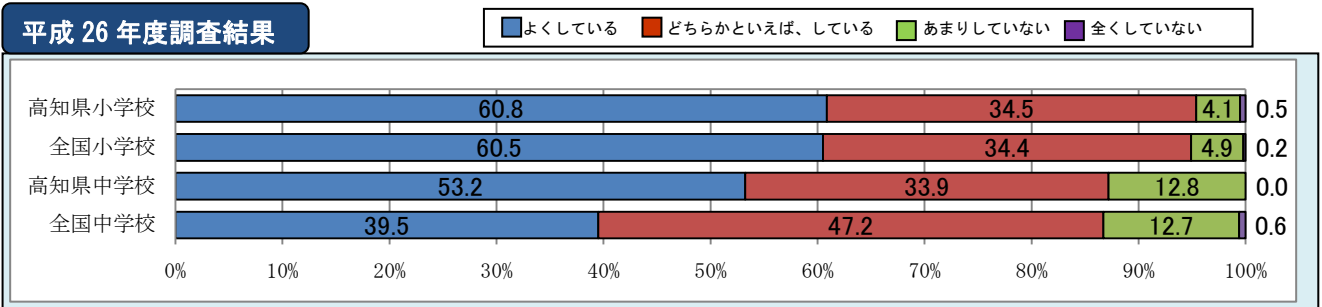
高知県（経年）



〔教員研修〕

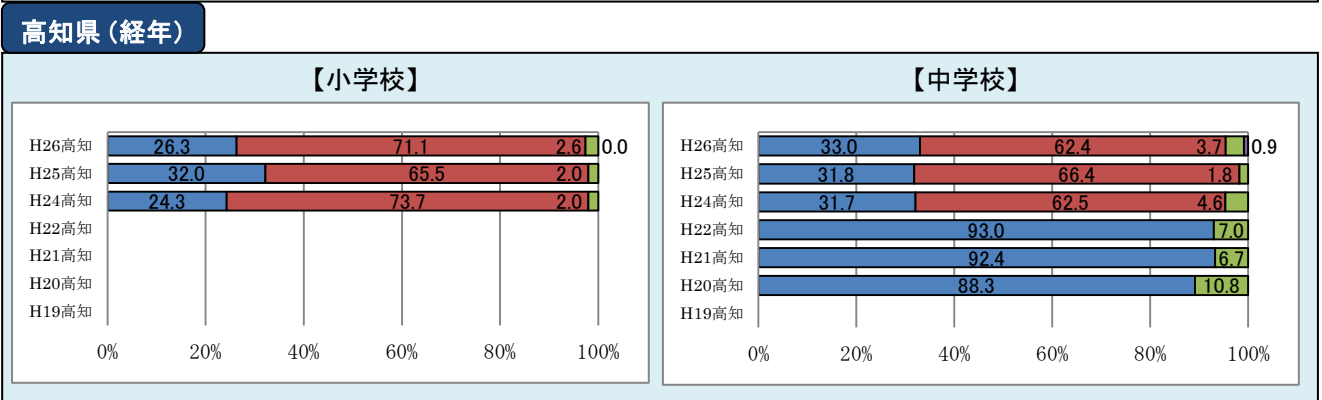
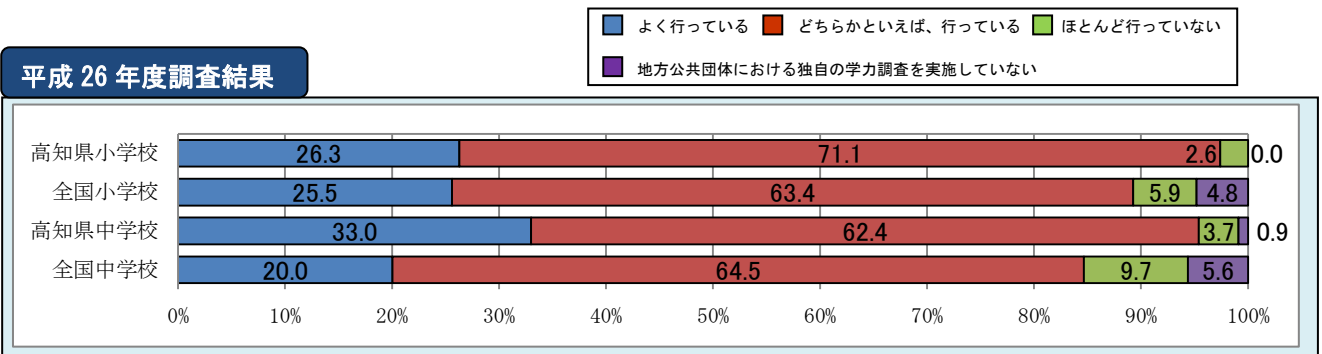
【模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか】

小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。



【全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では8.5ポイント上回っており、中学校では10.9ポイント上回っている。

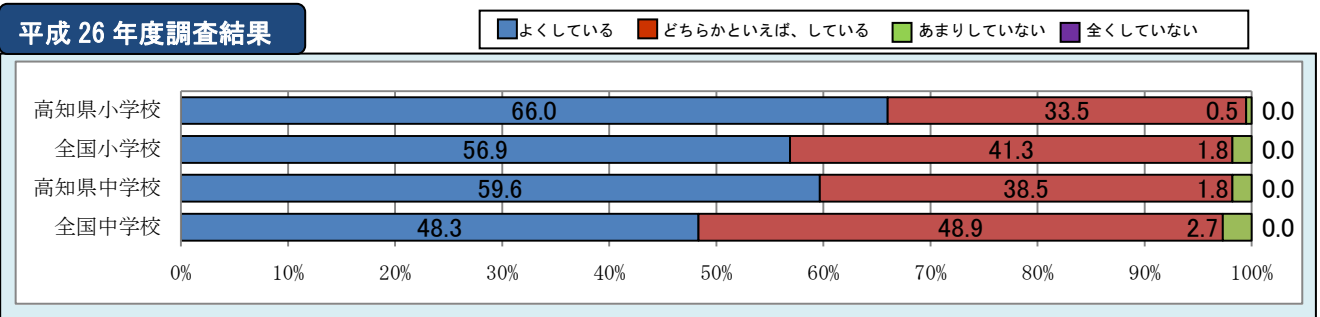


H24・25年度は「よく行っている」「行っている」「ほとんど行っていない」の三択
中学校のH22年度までは「はい」「いいえ」の二択

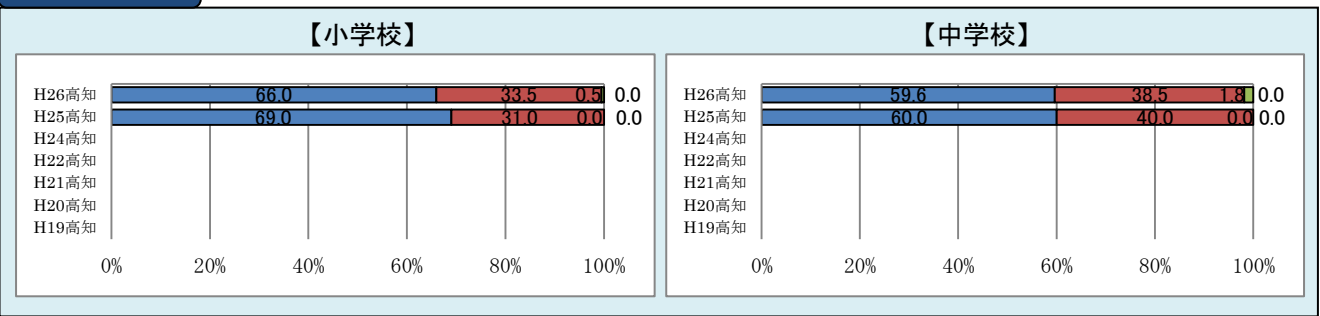
〔教職員の取組〕

【学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか】

小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。

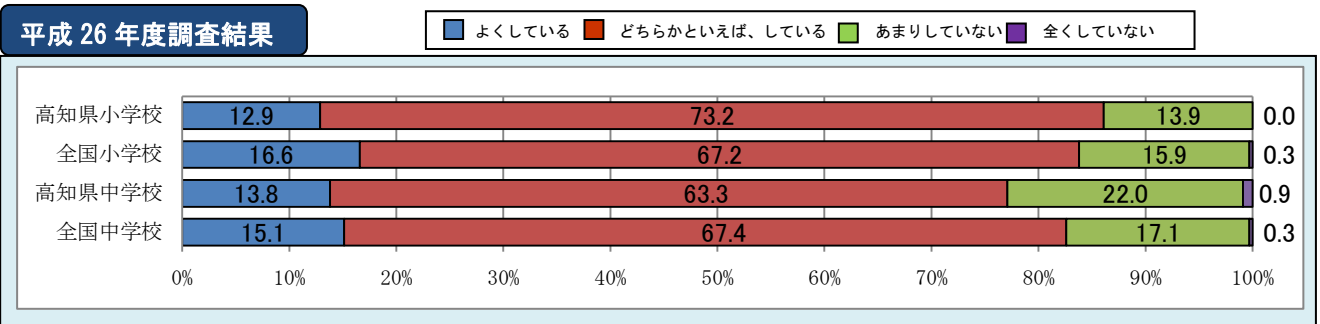


高知県 (経年)

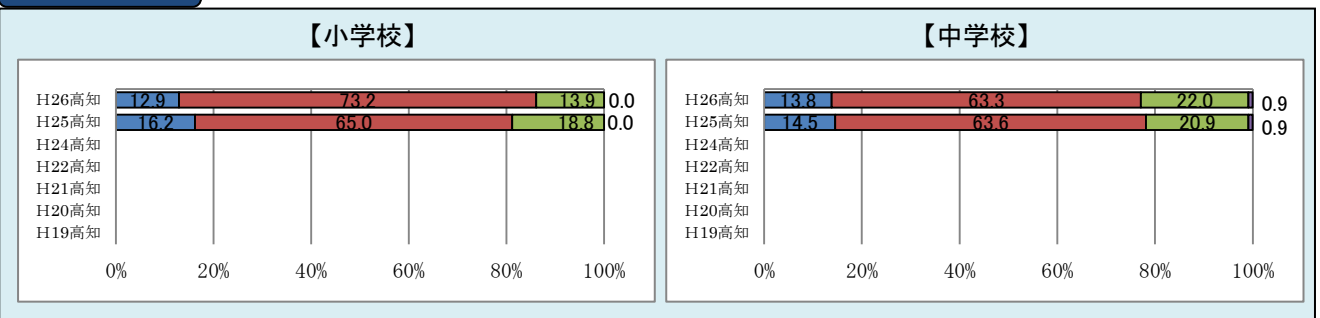


【知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか】

全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では2.3ポイント上回っており、中学校では5.4ポイント下回っている。



高知県 (経年)



【言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか】

小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。

